

# マドリッド



[www.spain.info](http://www.spain.info)



# 目次

はじめに	3	隠れた魅力	19
マドリードの地区	4	公園と庭園	
マラサーニャ地区		美術館と博物館	
チャンベリ地区		モニュメント	
チュエカ地区		マドリードの眺望	
グラン・ビアとソル地区		マドリードの夜	21
プリンセサ地区		マドリードの観光ルート	22
サレサス地区		セルバンテスのマドリード・ルート	
ラス・レトラス地区		アルモドバルのマドリード・ルート	
ハプスブルグ王朝時代の地区		自転車・ルート	
ラバピエスとデリシラス地区		マドリード周辺で訪れたい8つの街	
ラ・ラティーナ地区		アルカラ・デ・エナーレス	
レティーロ公園		アランフェス	
サッカーの街、マドリード		エル・エスコリアル	
文化の中心地、マドリード	10	トレド	
マドリード:美術館と博物館の街		セゴビア	
文化センター		クエンカ	
マドリードを味わう	13	アビラ	
伝統料理		サラマンカ	
前衛料理		マドリードへの交通	25
マドリードの四季を楽しむ	15	空港	
夏		AVE (高速鉄道)	
秋		自動車	
冬		マドリードでの移動手段	
春		マドリードの観光案内所	
親子で楽しむプラン	17		
遊園地			
ワーナーパーク			
動物園と水族館			
ファウニア自然動物公園			
プラネタリウム			
国立自然科学博物館			
アメリカ博物館			

産業観光商務省  
出版元: © Turespaña  
作成: Lionbridge  
NIPO: 086-17-059-4

無料頒布  
このパンフレットの内容は細心の注意を払って作成されています。もし誤りがございましたら、改善のために [brochures@tourspain.es](mailto:brochures@tourspain.es) までメールでお知らせくださいますようお願いいたします

表紙: アルフォンソ12世。レティーロ公園  
裏表紙: マヨール広場

# はじめに

数えきれないほどの見どころに溢れる近代的で居心地のよい街、マドリード。歴史が詰まった街角に迷い込み、90館を超える美術館と博物館を訪ねたり、公園や庭園を散歩したり、世界遺産に登録された光の景観を巡ったり、熱気にあふれる文化イベントを楽しみましょう。魅力的なマドリードの夜も見逃せません。

スペインの首都は文化そのものです。世界中どこを探しても、これほどの至近距離に、これほど多くの名作が集まっている場所はないでしょう。パセオ・デル・アルテ(芸術の散歩道)と呼ばれるエリアのことです。1km程の距離に国立プラド美術館や、国立ティッセン・ボルネミッサ美術館、国立ソフィア王妃芸術センターが建っています。

この街の豊かな文化財の数々をじっくり堪能してみたいはいかがでしょうか。中世のマドリードに思いを馳せながら、マヨール広場に立ち寄ったり、カサ・デ・ラ・ビジャ(旧市庁舎)付近のバルでタパス(一口おつまみ)を楽しみましょう。ブルボン王朝時代のマドリードの庭園や泉、宮殿では夕暮れ時の散歩がおすすめです。

マドリードは美食の宝庫でもあります。バル(立ち飲み居酒屋)やタベルナ(小料理

屋)で魅惑の一品に舌鼓を打つもよし、レストランやグルメスペースで国内外の美食に触れるもよし。チョコレート・コン・チュロス(チュロスとホットチョコレート)や、コシード・マドリレーニョ(マドリード風煮込み)、ボカータ・デ・カラマーレス(イカリングフライのバケットサンド)などは、この街ならではの一品です。

ヨーロッパ随一の緑の多い首都マドリードでは、日光浴やサイクリングも楽しむことができます。レティーロ公園や、カサ・デ・カンポ公園、マドリード・リオなど、自然あふれる大きな公園でゆったりと散歩をしましょう。マドリードの山間部ではウィンタースポーツを楽しみながら、自然を満喫することができます。

“スペインの情熱”を間近に感じるには、タブラオ(フラメンコのライブハウス)を訪れましょう。

娯楽、文化、美食など、旅の目的がどのようなものであっても、マドリードでは楽しい時を過ごすことができるでしょう。

この街に暮らす人々の人柄の良さは、旅人へのホスピタリティ精神に表れています。地元にいるような居心地の良さを感じるでしょう。

▼ グラン・ビア



← T   ← S3   → A  
TEATRO   SALA 3 EXPOSICIONES   AUDITORIO

CONDE  
DUQUE

## マドリードの地区

▲ コンデ・ドゥケ文化センター  
 写真: José Barea © Madrid Destino

この素晴らしい街の地区から地区を渡り歩き、その特徴を覗いてみましょう。それぞれは違っていても、ひとつ共通していること、それは、マドリードに暮らす人々のオープンな人柄です。

### マラサーニャ地区

マラサーニャ地区では、最先端の流行に出会うことができます。歴史が刻まれた5月2日広場を取り囲む、有名なバルを巡りましょう。そして1980年代の文化的・音楽的ムーヴメントであるモビーダ・マドリレーニャについて理解を深めてみませんか。マドリードで最もヒップスターでオルタナティブな雰囲気漂うエリアを散策し、ヴィンテージ・ショップの宝庫を覗きます。古本屋や若手デザイナーの店をめぐり、マドリードを代

表するショッピング街であるフエンカラル通りを歩きましょう。ショッピングのあとは、バジェスタ通りやサン・イルデフォンソ広場でお茶をしながらひと休み。素晴らしい建築美を堪能できるコンデ・ドゥケ現代文化センターで開催されるコンサートや文化イベントに足を延ばしてみるのもよいでしょう。



▲ 5月2日広場

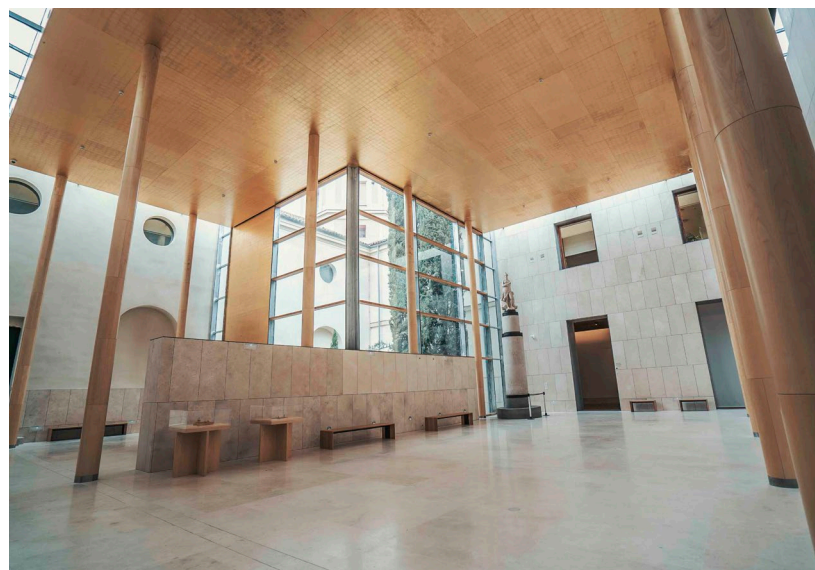
### チャンベリ地区

マラサーニャ地区のすぐ近くには、マドリードで最も伝統的な地区であるチャンベリ地区があります。華麗な大邸宅、ブティック、グルメショップを巡り、気品の高い雰囲気が漂うマドリードを散策しましょう。1969年に閉鎖された旧地下鉄チャンベリ駅の地下鉄博物館でタイムスリップしてみませんか。近代的なカナル劇場では、さまざまなジャンルの演劇や舞踏公演を楽しめます。閑静なオラビデ広場のテラスでのんびり過ごすのもよいでしょう。



### チュエカ地区

モダンで革新的なチュエカ地区の夜を体験してみませんか。伝統的なタベルナ、カフェ、先進的なデザインのバル、ディスコのDJやショーが訪れる人を迎えます。チュエカ地区は、スペインを代表する LGBTI+ の地区です。毎年6月に開催される世界最大級のゲイ・プライドのパレードに参加して、喜びや自由、色彩が織りなす圧倒的なエネルギーを肌で感じてみませんか。また、この地区ではマドリードの数ある文化財に触れることもできます。この街ではめずらしいモデルニスモ建築のロンゴリア邸や、18世紀のバロック建築であるマドリード歴史博物館を鑑賞しましょう。



▶ 地下鉄博物館、旧チャンベリ駅  
写真: Hiberus © Madrid Destino

▶ ゲイ・プライド  
写真: Biniam Ghezai © Madrid Destino

▶ マドリード歴史博物館  
写真: Hiberus © Madrid Destino

## マドリード

### グラン・ビアとソル地区

マドリードのブロードウェイの名で知られる、活気あふれるグラン・ビア(大通り)を散策しながら、このエリアの雰囲気を楽しみましょう。ミュージカルの名作から、最新作の映画、バリエーションに富んだ飲食店に、ショッピングまで、幅広く楽しめる繁華街です。プエルタ・デル・ソルではスペイン国道の「道路元標」碑を見学できます。年越しには、この広場にある時計の鐘の音に合わせて12粒のブドウを食べる習慣があり、多くのスペイン人がここに集まります。

### プリンセサ地区

マドリードの至宝の一つであるデボ神殿は、美しいオエステ公園の中にあります。古代エジプトの墓碑を鑑賞し、記憶に残る神秘的な夕暮れを眺めましょう。すぐ近くには素晴らしい芸術作品コレクションのリリア宮殿があり、スペイ

ン広場には綺麗な庭園と癒しの噴水があります。ドン・キホーテとサンチョ・パンサのモニュメントと一緒に、記念写真を撮るのもよいかもしれません。また、ショッピングを楽しみたい方には、店舗やブティックが連なる大通りが見つかります。

### サレサス地区

サレサス地区のレコレトス通りで彫像と噴水を見て歩いたり、マフレ財団の展示室で時を忘れて過ごしてみませんか。見事な建物の最高裁判所の隣にあるビジャ・デ・パリス広場の庭園でリラックスしたり、サンタ・バルバラ教会を見学するのもよいでしょう。ショッピングには、ピアモンテ通りとアルミランテ通りがおすすです。サンタ・バルバラ広場のテラスに座って街行く人々を眺めたり、ミシュランの星付きレストランで食事を味わうこともできます。

#### ▼ デボ神殿



## ラス・レトラス地区

ラス・レトラス地区を散策しながら黄金世紀のマドリードを感じてみましょう。石畳の道をゆっくりと歩いて、手工芸品やアンティーク家具、ヴィンテージを扱うお店で掘り出し物を探してみましょう。歴史が詰まった文学の路地に戻り、街歩きを続けた後は、タベルナに入って休憩を取ってもよいでしょう。



▲ クエスタ・デ・モヤノ(モヤノ坂)

16世紀のコラール・デ・コメディアスとして造られたテアトロ・エスパニョール（スペイン劇場）は、現在でも活動している最古の劇場です。この地区の思い出として、クエスタ・デ・モヤノ(モヤノ坂)の野外ブックマーケットで絶版本や昔のコミックを買うのもおすすめです。

## ハプスブルグ王朝時代の地区

マドリードで最も魅力的な地区の一つへ足を踏み入れましょう。まずは、素晴らしい建築美を誇るルネサンス様式のマヨール広場を訪ねます。フェリペ3世の騎馬像や、カサ・デ・ラ・パナデリアの外壁のフレスコ画、クチジェロス門が目を引きます。軒を連ねるタベルナに入り人気のタパスを試したり、アーケードを歩いて面白いお土産屋巡りも楽しめます。ビジャ広場では、この地区に残る中世の面影を感じ、そのすぐ近くには、18世紀のバロック建築の最高傑作であるサン・ミゲル教会があります。そして石畳の細い道の先には、ラス・デスカルス・レアレス修道院があります。アルムデナ大聖堂のドームから素晴らしい眺めを堪能したり、歴代のスペイン王家の旧王室であるオリエンテ宮の名でも知られる王宮を見学することができます。王宮は、重要な式典や国家行事の開催場所です。

オペラ劇場周辺のカフェでチョコレート・コン・ピカトステス(ホットチョコレートと揚げパン)を試してみましょう。夕暮れ時には、サバティーニ庭園から王宮のファサードが夕日に染まる様子が見えます。



▲ ビジャ広場  
写真: Brian Kinney/123rf.com

### ラバピエス地区

ラバピエス地区は、賑やかで多国籍かつ、近年の人気急上昇エリアです。細くて急な路地を散策しながら、コラーラと呼ばれる独特のパーティオを持つ集合住宅を覗いてみましょう。また、世界中からやってきた住人に交ざってこの地区を楽しんでみませんか。エコロジーコーヒーを飲み、数多くある本屋を巡り、小さなギャラリーやカサ・エンセンディーダなどのアートスペースを見学し、コミュニティセンターを覗いてみましょう。

オルタナティブかつ前衛的な演劇の発信地であるこの地区には、ラ・エスカレラ・デ・ハコブなどの小劇場が集まっています。クールなひと品をお探しなら、鉄道博物館のホームで開催されるモトレス市場で見つかるはず。生演奏の音楽や創作タパスを楽しみながら、一風変わった雑貨や服にきっと出会えることでしょう。市場は毎月第2週目の週末に開催されています。

### ラ・ラティーナ地区

ラ・ラティーナ地区では、サン・カジェタノ教会に立ち寄り、ラストロ(蚤の市)を訪れましょう。このラストロはマドリードで最も歴史ある蚤の市です。中世に起源するこの市は、毎週日曜日と祝日に開催されています。それ以外の日でも、この地区を散歩して骨董品店や珍しいものを探索できます。

#### ▼ ラストロ(蚤の市)







▲ パラシオ・デ・クリスタル(ガラスの宮殿)  
レティーロ公園

### レティーロ公園

レティーロ公園を散歩すると、この街の住人になったような気分を味わうことができるでしょう。サイクリングをしたり、ボートに乗ったり、寝転んで雲を眺めたり。ここから数分歩いたところには、サラマンカ地区があります。高級ショッピングエリアでの買い物を満喫できます。ミージャ・デ・オロ(ゴールデン・マイル)と呼ばれるセラノ通り周辺には、高級ブランドのショーウィンドーが立ち並びます。グルメもこの地区の魅力のひとつです。ホルヘ・ホアン通りやカステジャーナ大通りなどにあるレストランでこの魅力を味わってみましょう。

### サッカーの街、マドリード

応援するチームに関わらず、マドリードはサッカーファンにとって憧れの街でしょう。リアル・マドリードの有名なホームスタジアムであるサンティアゴ・ベルナベウやアトレティコ・デ・マドリードのホームスタジアムであるシビタス・メトロポリターノがあります。マドリードを訪れるサッカーファンにとっては、見逃すことができないスポットで

す。各スタジアムに併設されたミュージアムを訪ねれば、サッカー史に残る名場面の数々に迫ることができるでしょう。



# 文化の中心地、 マドリッド

マドリッドには魅力的な文化的スポットが目白押しです。準備はいいですか？

## マドリッド: 美術館と博物館の街

この街にはさまざまな美術館と博物館が集まっています。パセオ・デル・アルテ(芸術の散歩道)もしくはトゥリアングロ・デ・オロ(黄金の三角地帯)と称される、国立美術館が集中する一帯に足を運びましょう。歴史博物館や考古学博物館なども訪ねることができます。

### 国立プラド美術館

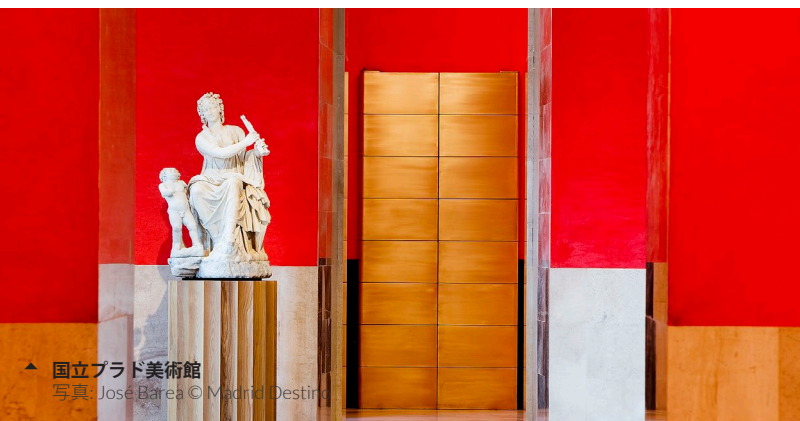
来場者数で世界トップ10に入る美術館です。ここでは、12世紀から18世紀にかけてのスペイン、イタリア、フランドル絵画の名作の数々を鑑賞することができます。ベラスケス、エル・グレコや、ゴヤ、ティツィアーノ、ヴァン・ダイク、レンブラントといった巨匠たちの傑作に圧倒されることでしょう。また、ベラスケスの『ラス・メニーナス』(女官たち)や、ゴヤの『着衣のマハ』と『裸のマハ』、ボッシュの『快樂の園』が訪れる人の心をとらえます。

### 国立ソフィア王妃芸術センター

この近代美術館の至宝である巨匠ピカソの『ゲルニカ』を鑑賞しましょう。他にも、ダリやタピエス、ファン・グリス、ルネ・マグリット、チジーダなどの偉大な芸術家の作品が所蔵されています。

### 国立ティッセン・ボルネミッサ美術館

魅惑的かつ貴重な、世界有数の個人コレクションを鑑賞しましょう。13世紀の西洋絵画から、19世紀と20世紀の作品までを所蔵しています。モネやヴァン・ゴッホ、セザンヌ、カンディンスキー、ドガの作品に見入ってしまうことでしょう。



▲ 国立プラド美術館  
写真: José Barea © Madrid Destino

## 王室コレクションギャラリー

650作以上の貴重な作品セレクションから、国の重要文化財である芸術品の素晴らしいコレクションが収納されています。ベラスケス、ゴヤ、カラバッジョなどの手による絵画・彫刻から武具・扇・時計・タペストリーまでを堪能できます。

## 国立考古学博物館

先史時代から19世紀までの収集品を所蔵しています。なかでもミイラと棺のコレクションは見応えがあります。

## 海洋博物館

中世から現代までのスペインの海洋史を知り、社会、文化、経済、軍事、科学の発展における重要な貢献を目のあたりにします。

## 服飾博物館

昔の衣服から、伝統衣装、近代のモードファッションまでを網羅する博物館です。フォルトゥーニやバレンシアガ、ペルテガスなどのハイブランドのデザイナーの作品も展示されています。

## 家 - 美術館

著名な芸術家や収集家の邸宅や住居に美しさと歴史が融合しました。ソロージャ美術館、ラサロ・ガルディアノ美術館、セルルボ美術館などは見学できる家美術館です。



## 文化センター

最新の文化のトレンドに触れるなら、マドリードのさまざまな文化センターを訪ねてみましょう。



### マタデロ

文化の普及や研究、創作のための施設として生まれ変わった旧屠殺場を気の向くままに見てまわることができます。展示会や前衛的なイベント、様々なアクティビティを楽しめます。グルメ関連のフェアや展示会も開催されます。

### セリアベルガ

展示、音楽、文芸、ワークショップなど。レトラス地区の20世紀初頭の独特な産業建築物にある文化スペースのプログラムを楽しみましょう。

### ラ・カサ・エンセンディーダ

若手アーティストによる新しい芸術表現に触れることができるソーシャル文化センターです。

お気に入りのアーティストを見つけたり、コンサートや様々なアクティビティに参加してみませんか。屋上

からは、マドリードの街を一望することができます。

### カイシャ・フォーラム

まずは、スペインにおける壁面緑化の先駆けとなった外壁にご注目ください。スペインの文化センターの金字塔となったこのカイシャ・フォーラムでは、古代、近代、現代芸術の展示会やコンサート、講演会その他の活動が企画されます。

### コンデ・ドゥケ文化センター

チュリゲラ様式の素晴らしいファサードに思わず足を止めてしまうでしょう。センター中央にある広いパティオでは、コンサートや展示会、フェア、映画などさまざまなプログラムが開催されます。夏には、野外でのアクティビティが楽しめます。

# マドリードを 味わう

▲ サン・アントン市場  
写真: Jose Barea © Madrid Destino

## 伝統料理

タベルナやバル巡りを楽しんでみましょう。やウエボス・エストレジャード(目玉焼きをのせたフライドポテト)、マドリード風カジョス(モツ煮込み)、「ソルダディートス・デ・パビア」(タラの衣上げ)などの郷土料理に舌鼓を打ちませんか。マドリードを代表する伝統料理コシードも外せません。一皿目にスープ、二皿目にひよこ豆と野菜、三皿目に肉、と三段階で楽しむ煮込み料理です。定番のタパスも試してみましょう。トルティージャ(スペイン風オムレツ)や、ボケロネス(カタクチイワシ)のフライ、パタタス・ブラバス(フライドポテトのピリ辛ソースがけ)がおすすめです。カニャ(小さなグラスで飲む生ビール)やスペイン産の良質なマドリード原産地呼称ワインは、どのようなシチュエーションでも食事を美味しく盛り上げてくれます。

世界最古のレストラン、カサ・ボティンでは石窯で焼き上げるコチニージョ(子豚の丸焼き)を注文してみましょう。その他にも豚ロースや炒り卵、アサリを使った一品などこの店ならではの料理があります。レンガ造りの天井が美しい地下の酒蔵は、一見の価値ありです。



歴史を感じる料理を味わい、世界の美食を発見し、革新的なレシピに出会う。マドリードの美食文化は驚きに満ちています。

▼ カジョス・ア・ラ・マドリレーニャ(マドリード風モツ煮込み)  
写真: Paolo Giocosso © Madrid Destino



マドリードには多くの歴史と伝統料理を味わえる100年を超えるレストランがいくつもあります。

## 前衛料理

ミシュランの三つ星を獲得したダビ・ムニョスを筆頭とする人気シェフのオリジナル料理を楽しんだり、人気のガストロバーを訪れてみませんか。マドリードには、フュージョン料理、外国料理、多国籍料理、さまざまな食スタイル（ビーガン、ベジタリアン、小麦アレルギー）を提供するレストランが数多くあります。また、音楽ライブ、ダンスやフラメンコなどのショーとグルメを組み合わせた新しいスペースもおすすめです。

街中に点在する市場に足を運び、普段とはひと味違う形でスペイン料理のおいしさに浸るのもよいでしょう。サン・ミゲル市場では、おしゃれなバルや豊富なデリカテッセンに注目です。アントン・マルティン市場では、食と芸術の見事な融合に出会えることでしょう。屋上のテラス席や、賑やかな雰囲気を楽しむなら、サン・アントン市場でのおつまみの食べ歩きがおすすめです。

ガレリア・カナレハスのフードホールは驚きに満ちた食の空間です。このグルメスペースでは多様な種類と国籍のレストランを味わうことができ、ミシュランガイドにも掲載されています。



# マドリードの四季を楽しむ

フェスティバル、お祭り、文化イベントなど、マドリードにはその季節ならではのイベントがあります。

## 夏

マドリード市民と一緒に、お祭りに参加してみませんか。8月15日には、**パロマ祭り**が開催されます。道や広場に並ぶ出店で、伝統料理や飲み物を買って食べ歩きを楽しみましょう。

世界で最もインターナショナルなお祭りである、**ゲイ・プライド**に参加することもできます。LGBTI+の権利を守るために、市街地の主要道路で行われるパレードやデモに加わってみましょう。

「**ベラノ・デ・ラ・ビジャ・フェスティバル**」でコンサートや演劇、舞踏などのさまざまなプログラムを体験しましょう。街の各所に設置されたステージでは、さまざまなジャンルとスタイルのプログラムが展開されます。

ファッションを楽しむなら、最新の流行をキャッチできる**マドリード・ファッション・ウィーク**がおすすめです。

音楽フェスティバルがお好みなら、**Madクール**、**プリマベラサウンドマドリード**、**植物園の夜**、**リオバベル**など数多くから選べます。夏の終わりには**DCODE MADRID**が開催され、**インディーズ音楽**から、**ポップ**、**ロック**まで、**人気アーティストの奏でる音楽**とともに暑い季節に別れを告げます。

## 秋

自分へのご褒美に、マドリードの公園や庭園をのんびりと散歩する時間はいかがですか。黄色や赤に染まった葉が舞い、穏やかな季節を優しく彩ります。香ばしい香りに誘われて、道端の露店で焼き栗を買うのもよいでしょう。この季節のお菓子といえば、**ウエソ・デ・サント**(聖人の骨)です。アーモンドの粉でつくられる伝統菓子です。

マドリードの秋は、ジャズをたしなむ人にぴったりの季節です。10月から11月にかけて、**マドリード国際ジャズフェスティバル**が開催されます。

▲ パセオ・デル・ブラド(ブラド通り)

## 冬

美しく飾り付けられたマドリードの街角で、クリスマスの喜びを味わってみませんか。クリスマス気分になりながら、夕暮れ時のイルミネーションに輝く道を歩きましょう。グラン・ビア、セラノ通り、アルカラ門がおすすめです。マヨール広場のクリスマスマーケットでは、ベレンの置き物やパーティー用の帽子、クリスマスの郷土菓子などが並びます。

クリスマスの時期のマドリードには、子どもから大人まで楽しめるイベントが目白押しです。

大晦日には、伝統に則り除夜の鐘とともに12個の幸せのブドウ粒をプエルタ・デル・ソルの時計下で食べましょう。

1月5日には、東方の三賢者のパレードを見に行きましょう。この日の夜にプレゼントをもらう子どもたちの浮足立つ様子に、きっと微笑ましい気持ちになることでしょう。

## 春

マドリード人のオープンな人柄に触れるには春が一番です。5月15日には街の守護聖人を祝う**サン・イシドロ祭**が開催され、人々は至る所で催される様々なアクティビティを求めて街へ繰り出します。プラデラ・デ・サン・イシドロ公園へ行くと、伝統衣装に身に包んだ人々に出会えます。チョティスという踊りを覚えたり、トンタス・イ・リスタスというこのお祭りの時期にしか食べられないドーナツ菓子を味わってみませんか。

5月2日にマドリードに滞在しているなら、マドリード州の日の特別な行事を楽しみましょう。マラサーニャ地区で行われる、祝賀行事を見に行くのもよいでしょう。

5月にはマドリードフラメンコフェスティバルで最高のフラメンコアーティストを観られる機会もあります。レティエロ公園では、ブックマーケットが開かれます。新刊本を見つけたり、好きな作家のサインをもらうことができるかもしれません。



# 親子で楽しむプラン

家族旅行でマドリードを訪れて、とびきり楽しい思い出をつくりましょう。子ども達と一緒にこの街を満喫できる、たくさんのプランがあります。そのいくつかをご紹介します。

## 遊園地

目が眩むようなジェットコースターや種類豊富なアトラクションに挑戦してみませんか。小さな子ども達は、ゴーカートやバイキングなどのアトラクションが楽しめます。ロープウェイを利用すれば、入場する前から冒険気分を味わうことができます。ピントール・ロサレス通りからロープウェイに乗り、空から眺める街並みを楽しみましょう。

## ワーナーパーク

映画のテーマパークへようこそ。豪華なハリウッドブルーバードや魔法のかかったカートゥーンビルレッジから、スーパーヒーローのショー、オールド・ウェスト・テリトリーのアクションやゴッサムシティスケープの興奮まで、ここでは、思いきり楽しめること間違いなしです。夏には、子どもから大人まで楽しめる、ウォーターアトラクションがワーナーパークビーチにオープンします。

## ファウニア自然動物園



熱帯のジャングルから氷で覆われた極地まで、様々な生息地に暮らす動物の生態を観察する旅へ、家族と一緒に出かけましょう。自然に焦点を当てたこのテーマパークへのアクセスは、マヌエル・ベセラ広場から出発するバスに乗ると便利です。

## 動物園と水族館

ジャイアントパンダやコアラを観察してみたり、人懐っこいイルカのショーを楽しむこともできます。街の中心地から数分の場所にある、カサ・デ・カンポ公園内の動物園と水族館で気軽に楽しむことができます。



## プラネタリウム

プラネタリウムから、宇宙への旅へ出発です。展示室や講演会、映画も楽しめます。また、子どもたちが自由に遊びまわれるキッズスペースも完備しています。

## 国立自然科学博物館

恐竜やクジラの巨大な全身骨格に子どもたちはわくわくすることでしょう。小さな昆虫から巨大イカまで、大小さまざまな生き物を観察しながら、子どもたちは地球の生物学的多様性の歩みに触れることができます。

## アメリカ博物館

大学地区に位置する、この博物館は、アメリカ大陸の美術品や考古学、民族誌学におけるコレクションを所蔵しています。



▲ アメリカ博物館

# 隠れた魅力

マドリードの隠れた魅力はまだまだあります。街中に点在する美しいスポットを探しに行きましょう。

▶ エル・カプリチョ公園



## 公園と庭園

マドリードリオでレジャーやレクリエーションのさまざまなエリアを楽しんだり、自然に囲まれたヘルシーエリアを自転車や徒歩で散策しませんか。またお気に入りの本を片手に、エル・カプリチョ公園のベンチに腰を下ろしてみませんか。もしくは、美しい彫刻、噴水や寺院を眺めながら、ロマンチックな雰囲気とさまざまな植物が織りなす風景の中を散策するのもよいかもしれませぬ。キンタ・デ・ロス・モリーノス公園では自然との完璧な調和を感じられるでしょう。冬が終わりを告げる頃、アーモンドの木が満開の花を咲かせます。マドリードの中心に位置するプリンシペ・デ・アングロナ庭園では、その手入れの行き届

いた造園美のなかで、のんびりとリラックスした時間を過ごすことができます。

## モニュメント

現在の市庁舎が置かれているシベレス宮殿には、シベレス市民文化センターや美しいガラス天井があります。ここから散歩しながら、サン・アントニオ・デ・ラ・フロリダ礼拝堂まで足をのばしてみましよう。そのドーム内には、ゴヤが描いたフレスコ画が残っています。レティーロ公園の隣には王立天体観測所があります。サン・アントニオ・デ・ロス・アレマネス教会やマタデロ・マドリードのパビリオンもこの街で見ることができる独特の建築物です。



ソローリャ美術館  
写真: Visions of America LLC/123rf.com

絨毯やタペストリー伝統的な手法を用いてどのようにつくられるのか、見てみませんか。王立タペストリー工場を訪ねてみましょう。驚くような発見があるはずです。

## 美術館と博物館

マドリッドには大小さまざまな美術館と博物館があります。バレンシア出身の画家ホアキン・ソローリャの作品を所蔵するソローリャ美術館を訪れてみませんか。かつて画家のアトリエ兼自宅であった庭付きの小さな邸宅が、美術館として開放されています。見事な邸宅のラサロ・ガルディアノ美術館には、芸術作品の素晴らしいコレクションが収蔵されています。セラルボ博物館では、19世紀の特権階級の生活を体感することができます。ロマンティシズム美術館では、当時の日常生活や風習を垣間見ることができます。17世紀のマドリッドまでさかのぼるなら、ロペ・デ・ベガ邸宅博物館を訪れてみましょう。



ファロ・デ・モンクロア  
写真: Hiberus © Madrid Destino

## マドリッドの眺望

高い所からマドリッドの街を眺めてみましょう。景色に魔法がかかる黄昏時がおおすすめです。ファロ・デ・モンクロアの展望台からは、王宮やアルムデナ大聖堂、クアトロ・トーレスと呼ばれるビジネス街を象徴する四棟の高層ビル、そしてグアダラマ山脈の眺望が楽しめます。

アルムデナ大聖堂のドームに登れば、マドリッドの街並みを一望できます。グラン・ビアとアルカラ通りの間にある美術・文化センターのシルクロ・デ・ベジャス・アルテスの屋上からは、絵葉書のようなマドリッド中心街の風景を眺めることができます。また、別の方角からの眺望を楽しむには、レジャーエリアのマドリッド・リオにあるウエルタ・デ・ラ・パルティーダ展望台がおおすすめです。マンサナレス川沿いに新しく整備されたレジャーエリアの奥に、威厳を放つ王宮とアルムデナ大聖堂を望めます。

# マドリードの夜



サンタ・アナ広場  
写真: Cesar Lucas Abreu © Madrid Destino

神秘的な夜か、愉快的な夜か、それとも、終わりなき夜か。街を歩いて、あなただけのマドリードの夜を見つけましょう。サンタ・アナ広場のテラスに腰を下ろしたり、ラ・ラティエナ地区やチュエカ地区の小洒落たレストランに入ってみたり。マラサーニャ地区の5月2日広場、もしくはラバピエス地区のアベ・マリア通り

とアルグモサ通りのバルに足を運ぶのもよいでしょう。

グラン・ビア(大通り)とその周辺も活気に満ちています。バルやディスコで踊って歌い、タブラオに入りフラメンコの情熱に触れる。マドリードの人にならって、一晩でたくさんの遊び方を試しながら、この街を夜明けまで楽しんでみましょう。

タブラオ・フラメンコ「コラル・デ・ラ・モレリア」  
写真: Hiberus © Madrid Destino



# マドリードの観光ルート

マドリードは散歩にぴったりの街です。あちらこちらを歩いてみると、地区によって異なる街並みに気が付くことでしょう。

スペイン広場

## セルバンテス・ルート

文学が好きな人には、セルバンテス・ルートがおすすめです。アトーチャ通り87番地にある1605年に『ドン・キホーテ』の初版が出版されたことで知られる印刷所からスタートします。たっぷりラス・レトラス地区を散策した後は、現在はスペイン劇場となっている、昔の大衆劇場コラル・デ・プリンシペを目指します。さらに歩くと、セルバンテスが埋葬されているトリニタリアス・デスカルサス修道院と、インスティトゥト・セルバンテス、国立図書館に到着します。散歩の締めくくりには、スペイン広場にあるセルバンテスのモニュメントで、ドン・キホーテとサンチョ・パンサの像との記念撮影がおすすめです。

## 自転車ルート

自転車に乗ってマドリードの街を散策する楽しみを味わいませんか。自転車専用レーンを利用すると、たくさんの観光スポットを効率よく回ることができます。数多くから選べる自転車専用レーンを利用して、安全に楽しく移動しましょう。

## アルモドバル・ルート

マドリードなくして、ペドロ・アルモドバルの世界観を理解することはできません。このルートでは、世界で最も知名度の高いスペイン人監督が作中で描いてきたマドリードの街角を訪ねます。『神経衰弱ぎりぎりの女たち』や、『抱擁のかけら』、『ボルベール<帰郷>』などの映画のロケ地をめぐるってみませんか。  
<https://www.esmadrid.com/madrid-de-almodovar>

映画好きなら、エヴァ・ガードナールートやアーネスト・ヘミングウェイルートではこの大スターたちがマドリードでよく通った場所を訪れます。

# マドリード周辺で訪れたい 8つの街

マドリードの主要スポットを観光したら、近郊の街へ足を延ばしてみましょう。これらの街の多くはユネスコ世界遺産に登録されています。

## アルカラ・デ・エナーレス

石畳の道を思いのまま歩いてみましょう。この街は作家ミゲル・デ・セルバンテスの生地です。コラル・デ・コメディアス(中世の大衆劇場)や教会、修道院を訪れながら、スペインの黄金世紀へとタイムスリップした気分を味わうことができます。有名大学の中にあるルネサンス様式の回廊やパティオにも足を踏み入れてみましょう。



## アランフェス



歴史芸術地区に指定される旧市街が美しい町アランフェス。タホ川のほとりに広がる綺麗に手入れされた庭園を散歩したり、王宮を見学したり、碁盤の目状に敷かれた道を歩いたり。イチゴ列車に乗車するのもおすすめです。歴史ある木造車両は、鉄道界の宝のひとつといえるでしょう。道中には、列車の名前にもなっているアランフェス産の有名なイチゴを試食することができます。アランフェス駅に到着したら、観光バスで歴史地区まで向かいましょう。

## エル・エスコリアル

一歩足を踏み入れた瞬間に、この街の文化的価値とユネスコの世界遺産に登録された理由が分かるはずです。修道院とサン・ロレンソ・デ・エル・エスコリアル離宮では、フェリペ2世がその建築を監督したエレリアノ様式の建造物に目を奪われることでしょう。マドリード山脈の素晴らしい景色に囲まれた、スペイン黄金世紀を象徴する場所です。

## トレド



キリスト教、イスラム教、ユダヤ教の三つの文化が生み出した街は必見です。路地を歩いてゆくと、別の時代にタイムスリップした感覚に落ち入ることでしょう。昔ながらの商店を覗き、アーモンドの粉でできた銘菓マジパンを試してみましよう。

## セゴビア



旧市街地、威厳のあるアルカサル、壮観な水道橋。セゴビアを好きになる理由は尽きません。美食界にも名を馳せる街の看板料理は、コチネージョ・アサード(子豚の丸焼き)です。この街に立ち寄る際は、必ず食べたい一品です。

## クエンカ

絵葉書のような風景に浸りましょう。有名な「宙吊りの家」は、岩壁に建てられ、岩山の上に建てられ、バルコニーが空中にせり出し、まるで宙吊りになっているように見えることで知られる家々が印象的です。モルテルエロ(豚レバーの煮込み)やアラフ(アーモンド菓子)など極上の美食を是非味わいましょう。

## アビラ



スペインを代表する城郭都市では、中世の街角やルネサンス様式の邸宅、アビラの聖テレサに捧げられた宗教美術が見どころです。肉のローストやTボーンステーキ、聖テレサのジェマス(卵黄菓子)がおすすめです。

## サラマンカ

建築美が有名な旧市街地をゆっくりと散策しましょう。長い歴史を持つ有名大学があるため、世界中の学生がこの街にやってきます。感じのよいバルやレストランを見つけて、味わい深い郷土料理を堪能しましょう。



# マドリードへの 交通

マドリードには空路でも陸路でも容易にアクセスできます。この街には近代的なインフラが整っています。

▶ アドルフォ・スアレス・マドリード＝バラハス空港  
写真: Paolo Giocoso © Madrid Destino



プエルタ・デ・アトーチャ駅



プエルタ・デ・アトーチャ駅

## 空港

アドルフォ・スアレス・マドリード＝バラハス空港は、街の中心地から約30分の場所に位置しています。交通手段は地下鉄あるいはシャトルバスが便利です。

## AVE

快適な高速列車AVEは、バルセロナやバレンシア、アリカンテ、セビージャなどの都市を結んでいます。マドリードの中心に位置するプエルタ・デ・アトーチャ駅がターミナル駅となっています。AVEには、さまざまな種類の回数券や割引カードがありますが、例えば、Renfe Spain Passは全てのAVE路線で利用可能な10回分のお得な乗車券です。

## 自動車

スペインには、広範囲かつ整備の行き届いた道路網があります。幹線道路や高速道路がスペイン全域に敷かれ、快適かつ安全に、国内のどこへでも車を走らせることができます。



## マドリードでの移動手段

マドリードでの移動には地下鉄をおすすめします。広大で近代的な交通網である地下鉄は、12路線を数え、市内のほぼ全域と一部周辺地域を繋いでいます。

他にも、マドリード市交通公社 (EMT) の市バスも便利です。通常の運行時間は、毎日午前6時から午後11時半までです。真夜中から明け方までは、「Búho」(ブーオ)と呼ばれる夜間バスが運行しています。詳細については、EMTのホームページでご確認ください。  
[www.emtmadrid.es](http://www.emtmadrid.es)。

Madrid City Tourのような観光バスは、マドリードのモニュメントや観光スポットを楽しむための、快適かつ簡単な方法です。好きな場所で何度でも乗り降りが可能です。

マドリードの周辺地域を訪れるなら、全9路線でマドリード州を繋ぐ近郊列車 (cercanías) が便利です。アトーチャ駅は全線の出発駅または停車駅となっています。

BiciMADは、電動自転車のレンタルサービスです。1日券、3日券、5日券のいずれかを、その場で発行することができます。

また、電気バイクや電気自動車のレンタルサービスも利用可能です。

マドリードシティカード：このカードには交通機関の観光用パスが含まれ、有効期間内の公共交通機関 (Aゾーン) が乗り放題になるほか、主要な観光施設の特典や割引を利用できます。



サンティアゴ・ベルナベウ・スタジアム

アドルフォ・スアレス  
マドリード・バラハス空港

**Chambererí**

ソロージャ美術館

サラマンカ地区

スペイン広場

**Malasaña**

**Chueca**

アルカラ門

王宮



王室コレクション  
ギャラリー

**Sol**

国立プラド美術館



レティーロ公園

マヨール広場

**Lavapiés**

王立植物園

**La Latina**

国立ソフィア王妃芸術センター

アトーチャ駅

トレド門

**詳細：**

マヨール広場ド観光案内センター  
住所: Plaza Mayor, 27, 28012, Madrid  
[www.esmadrid.com](http://www.esmadrid.com)

スペイン政府観光局公式サイト  
[www.spain.info](http://www.spain.info)



 MINISTERIO DE INDUSTRIA, COMERCIO Y TURISMO

TURESPAÑA 

 @spain

 @spain

 Spain.info

 /spain